

令和6・7年度 学力向上研究校指定事業



研究主題

子どもの学力向上と教師の働き方改革の 両立を図る授業改善

～3校再編成に伴う学力・学欲のデータ分析を通して～

1 羽生東小学校について

○令和7年4月1日

井泉小学校、三田ヶ谷小学校、村君小学校

3校による学校再編成

○児童数402名の中規模校（令和7年12月現在）

○学校教育目標

自ら進んで学ぶ子

思いやりのある子

健康でたくましい子

地域を大切にする子



2 研究主題設定の理由①

研究主題

子どもの学力向上と教師の働き方改革の両立を図る授業改善
～3校再編成に伴う学力・学欲の変化のデータ分析を通して～

上位層の割合が多い小規模校 2校

+ 中位層から下位層の割合がやや多い中規模校



相乗効果を引き出し、学力と学欲を高める必要性

2 研究主題設定の理由②

○授業前や授業後の準備や取組が増えていく傾向

○授業前後の準備が増えると、働き方改革が停滞

今後は、**持続可能な研究**が必要

○45分間の授業中に学力を身に付けさせる手立て

○教師が授業中にしかできない手立て

⇒**学力向上と働き方改革の両立を図る**

3 研究の視点

- 1 子どもの学力や学欲向上を図る授業改善
- 2 教師の働き方改革からの授業改善
- 3 県学調等のデータ分析結果からの授業改善

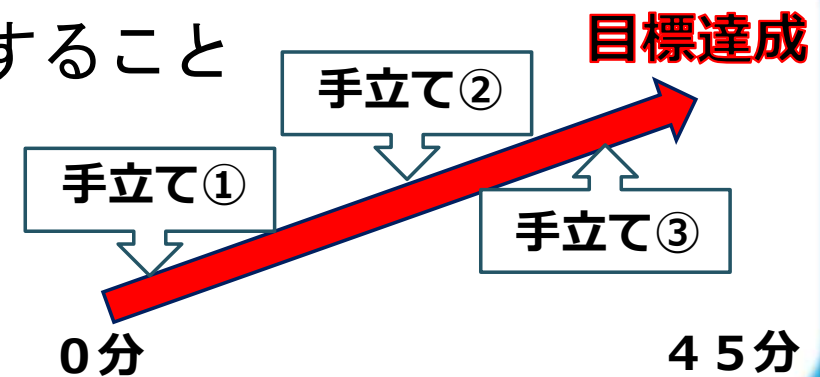


～花火ではなく炭火のような研究～
(持続可能な研究)

研究の視点1 子どもの学力や学欲向上を図る授業改善

【研究から分かってきた有効な手立て】

- 本時の課題（めあて）を疑問形（5W1H）にすること
- 課題に対する予想を行い、学習の見通しをもたせること
- 板書を構造化すること
- 一問複数答の発問、補助発問を工夫すること
- 学習のまとめに向かう話し合いを重視し、
子どもの言葉でまとめたものを価値付けること
- 本時の学習活動の中に、選択と共有を設定すること



6つ目の手立て

選択(個別最適な学び)と共有(協働的な学び)の場の設定



8 展開

学習活動	学習内容	・指導上の留意点
1 問題をとらえ、立式する。	○問題の確認	
2 学習課題をつかむ。	○前時との違いの把握 ○本時の課題の確認	・被除数に、既習の後、何十何の数し、課題作りにつ
3 23×3の計算の仕方を考える。	○自力解決 ・模擬貨幣図で ・レイ図で ・さくらんぼ計算で	→前時まで10・着目して考えている理解力に乏しい児童に配慮し、プリントの配給に配慮すること、出せるようにする。
4 全体で考えを話し合い、共通点を確認する。	○23×3の計算の仕方の確認 ○考えの共有 ○比較・整理 ○考えの形成 ・位ごとに分けている ・九九が使える。	→アレイ図や模擬貨幣図など様々な考え方を取り、「どうして」「つまり」を繰り返すことで、共有していることにつなげる。
6 考えをまとめる。		[思考・判断・表現] 観察、発言、ノート 既習の乗法九九など計算の仕方を図や式
7 適用問題を解く。	○本時の学習内容の復習	→自分で選べる適用問題に取り組み、2人1組にする。
8 学習内容を振り返る。	○学習内容の整理	・適用問題を取り組むように促すことで、わからないようにする、教員の担当に本時

【選択】

【共有】

【選択】

【共有】

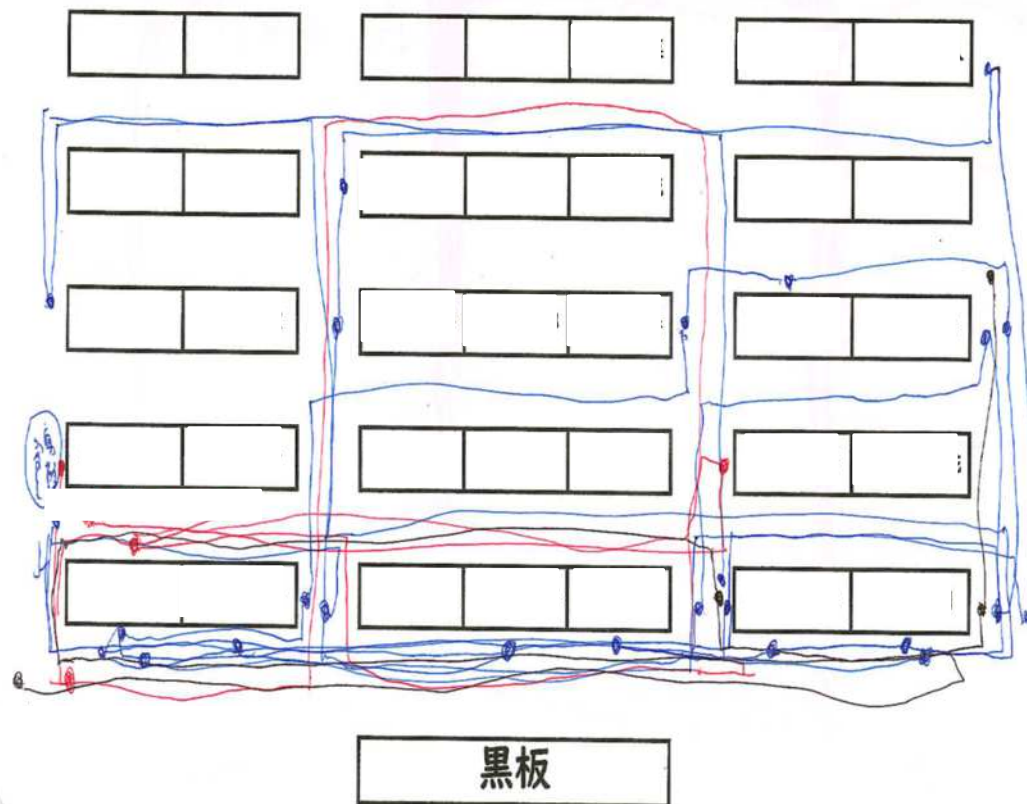
研究の視点2 教師の働き方改革からの授業改善

①意図的な机間指導

○学習理解度の向上



○自主的な学習態度の育成



T1の動き⇒青
T2の動き⇒赤

研究の視点2 教師の働き方改革からの授業改善

②リアクションとフィードバックの強化

○学欲の向上

〇〇さんは別に考え方がありみたいだよ。
どこが違うか聞いてみよう！

この矢印はどういうことかな？

180度で分けるのではなくて…

○ファシリテーション力の向上



【算数】

- 発問 〇〇さんが書いてくれたことを説明してくれる人？（同一の考えの人に説明をさせる）
- 発問 どうして〇〇と考えたのでしょうか？
- 発問 〇〇という数は何を表していますか？
- 発問 〇〇さんと同じ考えの人いますか？ 付け足しある人いますか？
- 発問 〇〇さんは今まで習ったどの方法を使ったのでしょうか？
- 発問 〇〇さんと異なる（違う）考え方をした人いますか？
- +
- 繰り返していく時
- 〈それぞれの考えの良さを見つける〉
- 発問 〇〇さん考えのわかりやすいところ/いいところはどこですか？

【国語】

- 【深い学びにつながる発問】
- 1 別の言葉に言い換えると？
- 発問 「鉄砲みたいに」ってどんな様子ですか？（教科書に書かれている文・言葉から）
- 発問 〇〇さんは「～。」と書いていただけ、それってどういうことですか？
- 発問 「～」と書かれていただけ、たとえ（比喩）で言ったら何と言いますか？
- +
- 2 比べてみよう！
- 発問 「肩をおとした。」と「がっかりした。」はどう違いますか？
- 発問 「～」は文章のどこかとつながっていますか？
- 発問 前にも同じことはありましたか？

研究の視点3

県学調等のデータ分析結果からの授業改善

○県学調・規律ある態度のデータ分析結果から

【県学調】

- ・ **作業方略**と**自己肯定感**が令和6年度よりも下がっている。

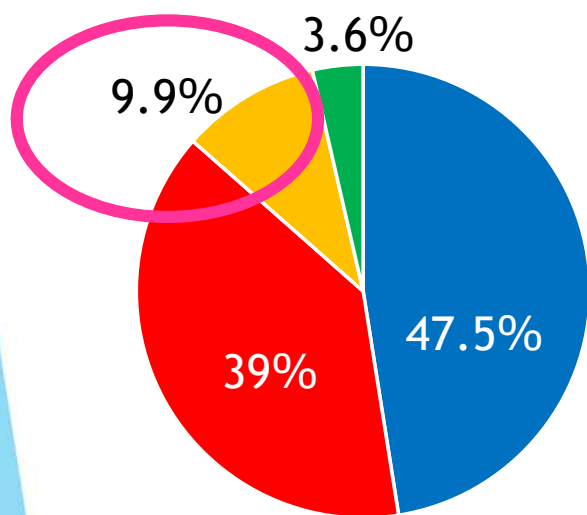
【規律ある態度】

- ・ **「話を聞いて発表する」**が県平均を下回っている。

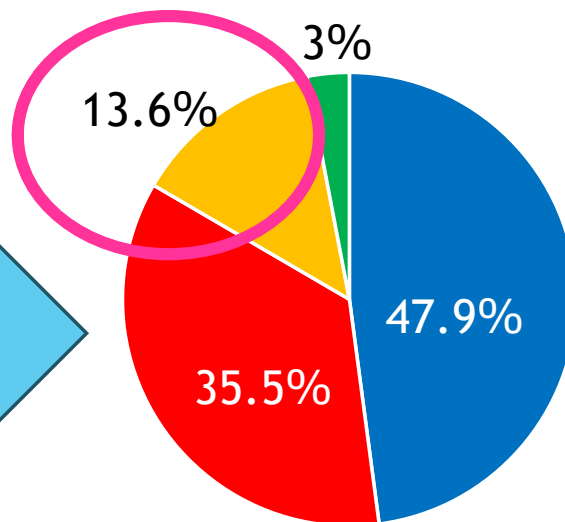
○本校独自の学習アンケートから(3年生以上に実施)

ペアやグループ、全体で話すとき、進んで自分の考えを言ったり聞いたりして、課題を解決しようとした。

【5月】



【1学期末】



研究の視点3

県学調等のデータ分析結果からの授業改善

【県学調】

- ・ 作業方略と自己肯定感が令和6年度よりも下がっている。

【規律ある態度】

- ・ 「話をきいて発表する」が県平均を下回っている。

【学校アンケート】

- ・ 「自分の考えを相手に伝える」ことを苦手になっている。

【日々の様子】

手立てとして

- ①共有の場面において、声に出して自分の考えを相手に伝えられるようにする。
- ②教師のリアクションとフィードバックを通して、子供の自己肯定感を高められるようにする。

研究の視点3

県学調等のデータ分析結果からの授業改善

第3学年1組 算数科指導案

令和7年9月26日(金) 第5校時

在籍児童数 26名

授業者

☞

1 単元名 大きい数のかけ算のしかたを考えよう

2 児童の実態と本単元の意図

本単元の児童は、乗法の学習に関して比較的意欲的に取り組む児童が多い。しかし、乗法に関する前単元「九九を見なおそう」では、被乗数を分配して既習の九九を使って計算することに取り組んだが、習熟に差がでている。

本単元では、2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方を、数の構成や既習の乗法計算に着目して考える。しかし、10や100を基にした数の構成の理解が不十分であったり、九九が何とか唱えられる程度であったりする児童が多いため、取組に大きな差が出る考えられる。そこで、模擬貨幣の図、サクランボわけをした式、言葉での説明など自分ができる方法で考えられるようにし、練り上げでそれらを関連付けながら問題解決する活動を通して、2～3位数に1位数をかける乗法計算の意味理解を深められるようにしたい。そして、計算の仕方と筆算の仕方を確実に結び付け、筆算形式の意味を理解した上で筆算を習熟できるようにしたい。

令和7年度の県学調の学習方略・非認知能力の分析結果によると、本校の5・6年生共に、作業方略と自己効力感が令和6年度の数値より下がっている。また、規律ある態度の分析から、「話を聞いて発表する」項目が県平均を下回っている。さらに本校独自のアンケートからも、「自分の考えを相手に伝える」ことを課題としている児童が多い。これらの結果から、本校の児童は全体として「声を出す活動」及び「自分の考えを児童に伝える・発表する」ことが特に課題であることが分かった。よって3年生においても、児童が声を出して自分の考えを教師や友達に伝える場面を授業中に設定する必要がある。そこで、授業中に選択と共有の場面を設定し、特に共有の場面において、声を出して自分の考えを相手に伝えられるようにしたい。また、教師のリアクションとフィードバックを通して、児童一人一人の自己効力感を高められるようにしていく。

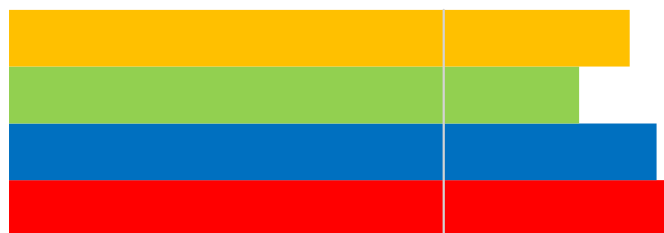
令和7年度の県学調の学習方略・非認知能力の分析結果によると、本校の5・6年生共に、作業方略と自己肯定感が令和6年度の数値より下がっている。また規律ある態度の分析から、「話を聞いて発表する」項目が県平均を下回っている。さらに、本校独自のアンケート結果から、「自分の考えを相手に伝えることを課題としている児童が多い。これらの結果から、・・・そこで、・・・

4 成果と課題

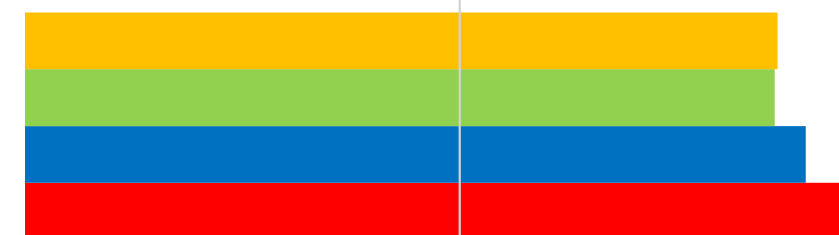
R7年度県学力学習状況調査より 伸びた児童の割合(%)

第4学年→第5学年

算数



国語



埼玉県



羽生市



羽生東小

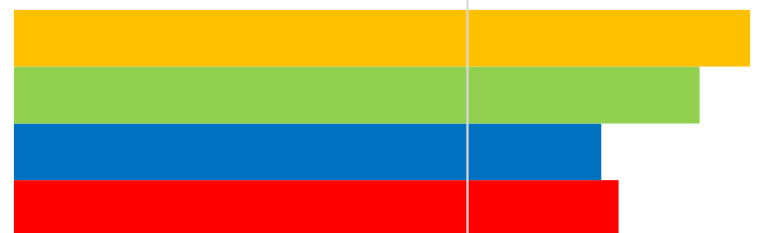


旧井泉小

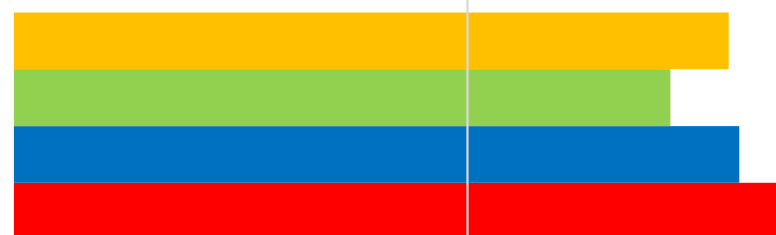


第5学年→第6学年

算数



国語



0 50 100

0 50 100

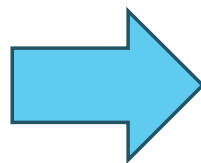
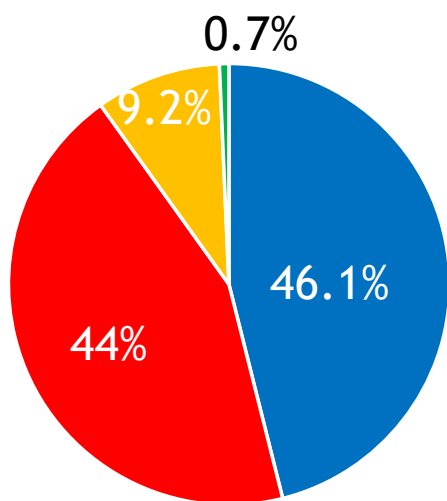
0 50 100

本校の算数の学習アンケートより(3年生以上に実施)

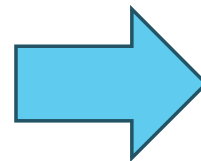
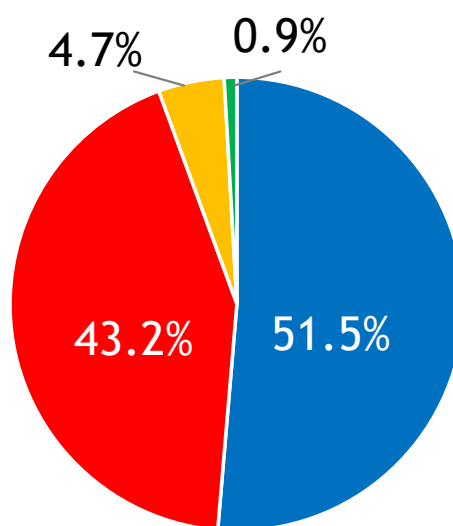
課題解決に向けて、自分の考えが1つでも見つけられた。

■ よくできた ■ 少しできた ■ あまりできなかった ■ できなかった

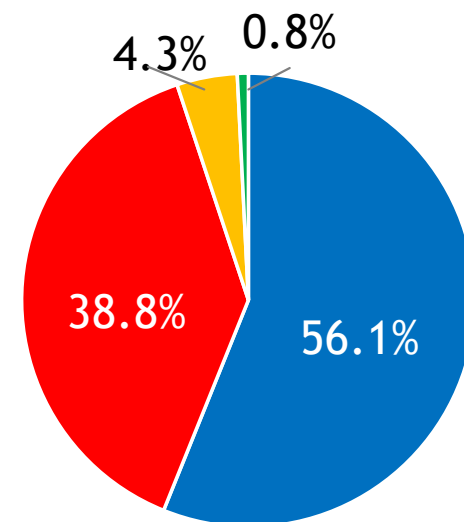
【5月】



【1学期末】



【10月】

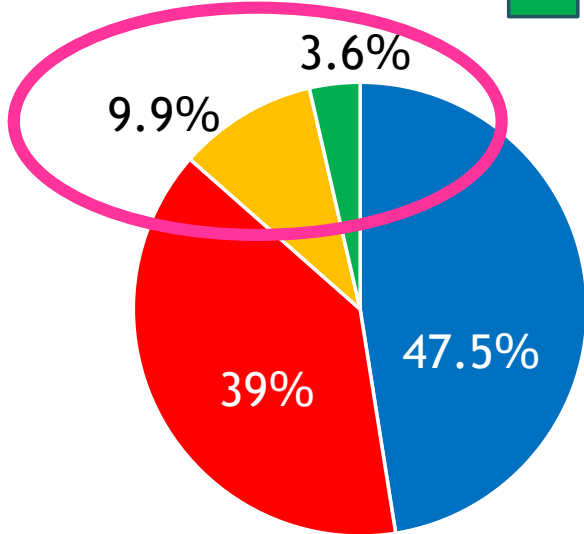


○本校の算数の学習アンケートから(3年生以上に実施)

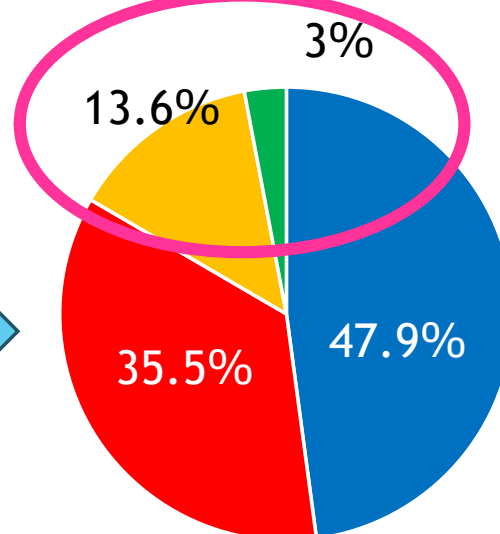
ペアやグループ、全体で話すとき、進んで自分の考えを言ったり聞いたりして、課題を解決しようとした。



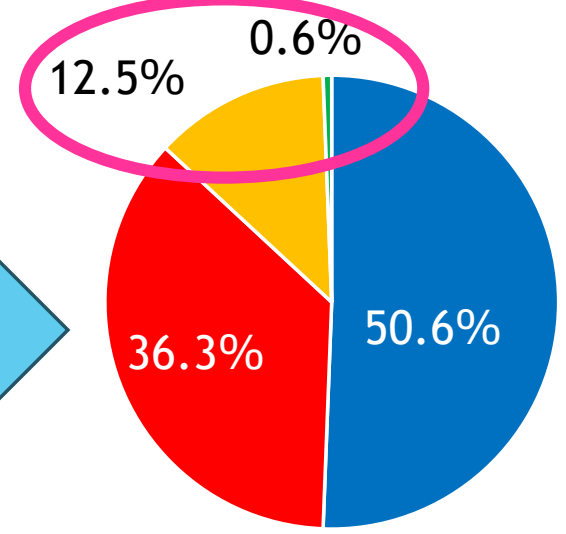
【5月】



【1学期末】



【10月】



本校の3校再編成に関するアンケートより 【児童 学習編 2年生以上に実施】



再編成は、学力と学欲向上に影響を与えている。

教師の働き方改革に関するアンケートより

【指導案の書き方：4ページ以内とする】

- ・ **展開の部分に集中**して考える時間を取ることができた。

【授業に焦点を当てて研究する】

- ・ **研究授業・普段の授業の準備に時間**を割くことができた。

【研究組織の見直し】

- ・ 調査研究部、環境部を廃止し、全員を授業改善部としたことで、**授業改善に集中**することができた。



働き方改革との両立は図られつつある



旧井泉小学校



旧三田ヶ谷小学校



旧村君小学校

御清聴
ありがとうございました